



学校だより 1月号  
京都市立安祥寺中学校  
令和3年1月5日  
校長 田中 智之

## 乗り越え、前進する一年に

新しい年がスタートしました。今年の干支は丑（うし）です。現在では動物の「牛」という文字やイメージが使われています。「牛」は食牛や乳牛、耕牛と、大切な農業を地道に最後まで手伝ってくれます。うし年は「我慢（耐える）」や「発展の前振れ（芽が出る）」を表すとも言われています。



ワクチンや薬の開発が急がれていますが、コロナ禍はまだしばらくは厳しい状況が続くかもしれません。その先にきっとまた明るい未来が開ける、私たちが拓いていくことを信じて、もう少し我慢をし、発展への芽を育て、伸ばしていきましょう。

学校では仕上げの3学期を迎えます。「一年の計は元旦にあり」というように、今年一年の、そして仕上げの学期の良いスタートが切れるように、目標を設定し、実現への意欲を高めることが大切です。今年も自分自身に「かがやけ」と励ましながら、かがやく一年、挑み達成していく一年にしてほしいと思います。

## 3年生はいよいよ出願

3年生は私立高校への出願が間もなく始まります。学校ごとに願書の書式や受験料の振込日・方法も違うので自分がやるべきことをしっかりとチェックしてミスがないようにしましょう。公立高校の願書も今月中旬以降に提出という日程です。



入試で面接を行う高校もあり、今月末からは面接練習を行います。この先、進学でも将来の就職でも面接はとても重要です。面接本番での緊張は仕方ないものですから、準備や練習を重ねておくことが大切です。身だしなみから始めて、志望理由、高校で頑張ることなど「やる気と決意」をきちんと表現できるようにしておくことが大切です。

## 2年生は読書と新聞を！



2年生は、「ふれあいトーク」「生き方探究チャレンジ体験」が中止となり、人生経験が豊富な大人の人たちと話をしたり、職場体験を通して、将来について考えたりするという機会を逸してしまいます。埋合せにぜひ「読書」と「新聞」を活用してください。もちろん家族との会話が一番ですが、「読書」を通して自分の世界を広げることと、新聞を読んで社会に関心を持ち、自分なりに思いや考え方を育てるこも必要です。テレビドラマやニュース番組もありますが、映像からのイメージに対して受容的になるため、文字から創造する経験をより多く重ねてほしいと思います。



## 1年生は先輩になる準備を

1年生は中学校生活のスタートから3分の1近くがお休み状態で、2学期から凝縮した時間を過ごしてきました。入学時よりもずいぶん遅しさが増してきました。あとしばらくすると後輩を迎える立場になります。強く、優しい先輩になっていくよう、自らをしっかりと成長させていきましょう。単に学年があがって先輩になるのではなく、「こんな自分（上級生）になる」という気持ちと行動がとても大切です。

2021

※裏面に月行事を掲載しています。ご覧ください。

学校ホームページをご覧ください！

<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=204002>

学校の取組の様子などを掲載しています。